

【概要】

地震観測・解析システム(CRUMOS)は、多数の地震観測点からの情報を同時に収録しリアルタイムモニタリング表示します。収録したデータは自動震源決定処理で、地震カタログデータと地震イベント切り出し波形データのDBを構築します。このDBはWebから検索でき、ダウンロード可能です。地震カタログデータは気象庁一元化震源データとの比較、3D表示、その他の解析が可能です。CRUMOSは、弊社で開発しました多種類のデータを同時に収録、保存、表示する機能:KF_Monitorをベースに開発しています。

【導入事例】

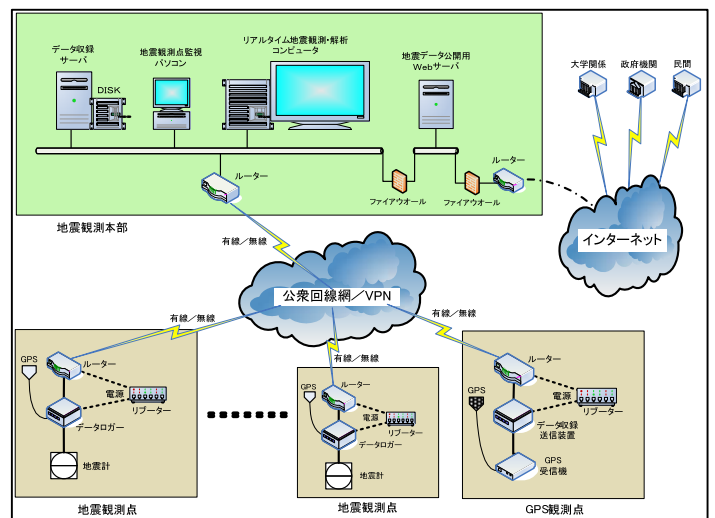
稠密観測 : 4例(山崎断層帯、岩手宮城、柏崎、新庄)
高感度観測 : 3例(柏崎、苫小牧、鳥取)

【主な機能】

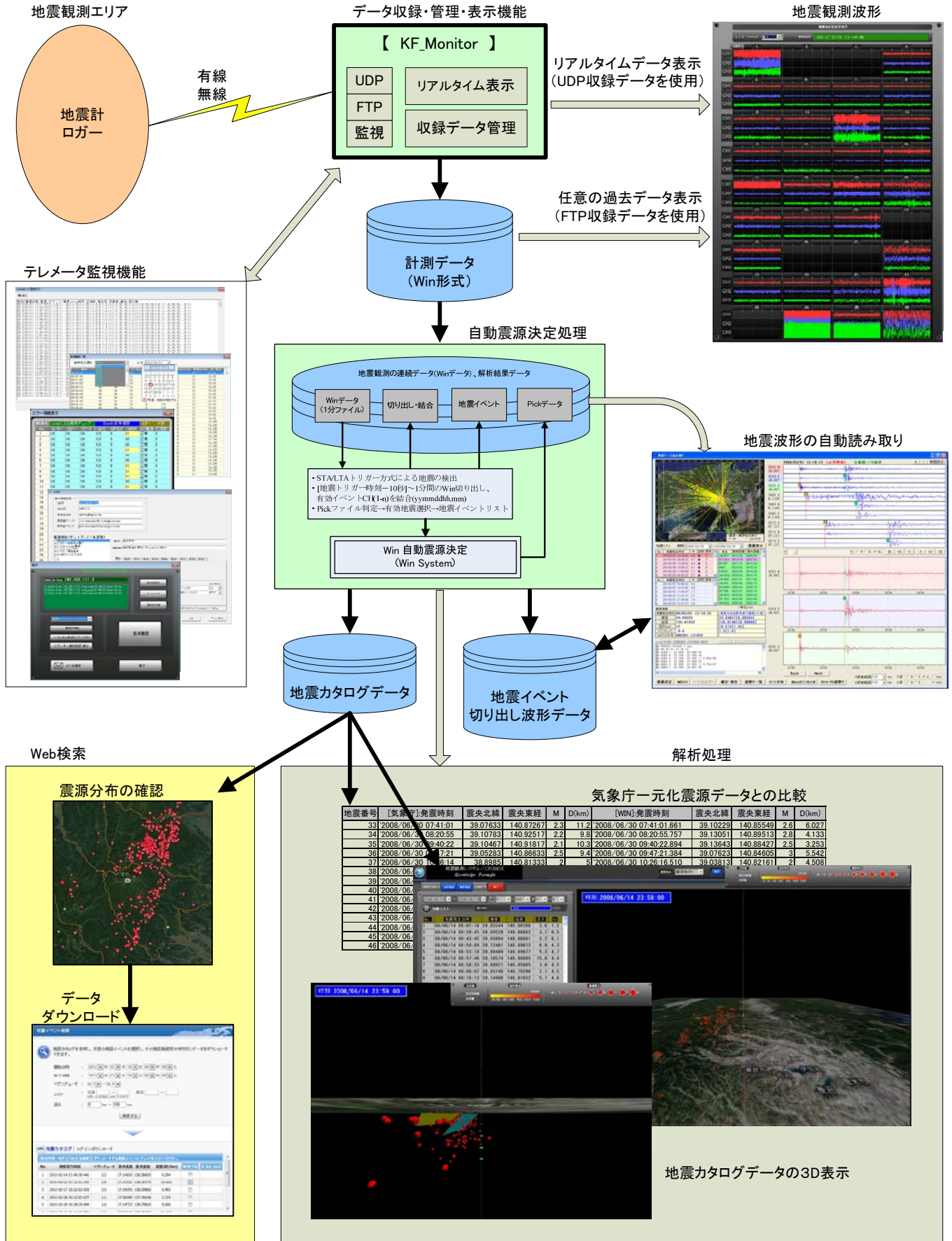
- 1) データ収録
リアルタイムモニタリング用にUDPによる収録、確かなデータ収録のためにFTPによる収録、保存各種のデータ収録監視、観測点の自動再起動等を実現
地震観測点の地点情報DB(位置情報、トラブル記録など)
- 2) 自動震源決定
STA/LTA方式による地震イベントの自動検出
Win方式による自動震源決定
地震カタログデータと地震イベント切り出し波形データのDB
- 3) Web検索とダウンロード
地震カタログデータのWeb上での検索と位置確認
目的の地震イベント切り出し波形データのダウンロード
- 4) 解析処理
自動震源決定結果と一元化震源情報との比較
地震カタログデータの3D表示

【システム構成の例】

- 1) 地震観測点
地震計、データロガー、ルーター、リポータ、電源系
データ通信は、有線、無線(携帯、スマホ、ZigBeeなど)
データ伝送は観測点の状況により、確実性と最安値で選択
- 2) 地震観測本部
データ収録サーバ、地震観測点監視パソコン、リアルタイム地震観測・解析コンピュータ、地震データ公開用Webサーバで構成する。観測地点数、サンプリングレート、収録期間などで、システムの規模を検討。
VMware、Hyper-Vなどの仮想化でシステムのコンパクト化



注)このカタログに記載された仕様・デザインは予告無しに変更することがあります。



注)このカタログに記載された仕様・デザインは予告無しに変更することがあります。